

企画名	能登半島先端の地珠洲でSDGsを学ぶ		
SDGs目標	11・12・14・15		
学習のポイント	里山里海の体験を通じて人と自然との共生について学ぶ		
企画概要	<p>「能登の里山里海」は、農林水産業を中心に自然と調和した持続可能な暮らし方が続けられていることが評価され、2011年6月、先進国で初めて世界農業遺産に認定されました。また、能登半島の最先端に位置する珠洲市は、2018年に「SDGs未来都市」にも認定されています。</p> <p>本プログラムでは、能登の里山里海をフィールドに、「能登SDGsラボ※」スタッフの協力により、海岸清掃や塩づくり、磯遊びなどの里山里海と親しみながら、その活動がどのようにSDGsに貢献しているかを学びます。</p> <p>※能登SDGsラボ …地域と経済をつなぐことを目的に、地元大学・国連機関・金融機関及び行政により設立。</p>		
設定期間	通年	外国語対応	英語
販売価格 (料金/税込)	高校生 1人あたり1体験3,850円	中学生 1人あたり1体験3,850円	その他 (SDGs講習会) 別途1人 550円
企画内容 (詳細)	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・珠洲市がどのような地域課題の解決に取り組んでいるか調べる。 (珠洲市におけるSDGsの取組に関する資料を事前に送付します)</li> <li>・「最果ての地」と呼ばれるような地理的に不利な状況にある中で、地域を持続可能なものとするためには、どのような取組が必要か考えてみる。</li> </ul>		
	<p>【当日の流れ・学習内容】</p> <p>1 里山里海体験 (グループに分かれて様々な体験学習に取り組みます) 所要時間 1時間30分 ※SDGsの指導員や里山里海を守るボランティアが案内します。(生徒10~15人つきスタッフ1人) → ① 海岸清掃と漂着物観察 (漂流ごみなどの分類、観察から見える海の現状を学ぶ) ② 能登にのみ残る揚げ浜式製塩体験 (なぜ能登でのみ継続したか、海と山とのつながりを学ぶ) ※5~9月に対応が可能です。 ③ 退役競走馬と海岸散歩やふれあい活動 (退役した競走馬と触れ合い、人と動物の共生を学ぶ) ④ 磯遊びと釣り体験 (磯に生きている生物観察とちょっとした釣りを通じて海の豊かさを学ぶ) ⑤ 海のめぐみ「珪藻土」を使ったオカリナづくり (何万年も続く海の大切さを学ぶ) 上記以外にも多数のプログラムがありますので、お問合せください。 体験したその場で振り返り学習を行います。体験した直後に発表をすることで理解がより深まります。 ※雨天の場合、①②④は「⑥ヒンメリ制作体験」に振替可能 →ヒンメリとは、麦わらで作る北欧フィンランドのインテリア装飾品です。ヒンメリの素材は麦わらを使用しており、土から生まれ土に還る素材を使った製品づくりに触れることで、環境に優しい製品づくりを学びます。</p> <p>2 SDGs講習会 (場所:ラポルトすず など 講師:SDGsラボ関係者) 45分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習での学びについて感想を共有します。</li> <li>・SDGsラボ職員等による能登におけるSDGsについての講義を聞きます。</li> </ul>		
	所要時間	2時間~2時間30分程度	
	実施場所	SDGsラボ (金沢大学能登学舎内)、ラポルトすずなど	
	所在地	石川県珠洲市飯田町1-1-8(ラポルトすず)	
	アクセス	金沢駅から車で約2時間30分、能登里山空港から車で1時間	
	駐車場	各体験場所 大型バス駐車可	
	当日準備物	汚れても良い服装、帽子、軍手	
	<p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関する考え方を、自分が住んでいる地域でどのように活かすことができるか考えてみる。</li> </ul>		
	最少受付人数	40名	事前予約
最大受付人数	200名	予約先電話番号	0768-82-4688
受入可能時間	9:00~16:00	予約先FAX番号	0768-82-6360
精算方法	後日請求書払い		
取消料	1週間前で80%、前日で90%、当日で100% (コロナに起因する場合は、キャンセル料なし)		
その他 (注意事項等)	プログラムによっては季節を限定するものもあります。また、他のプログラムと組み合わせも可能です。(要相談)		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的な対策	特になし	
問合せ先	NPO法人 能登すずなり		電話番号 0768-82-4688
	担当者	坂・高堂	メールアドレス info@notohantou.jp
	URL	http://www.notohantou.jp	

企画名	奥能登の農村に泊まって学ぶ、持続可能な暮らしと里山保全			
SDGs 目標	7・8・11・15			
学習のポイント	農村の暮らしを体感し、自然に寄り添う暮らし方と里山の保全について学ぶ			
企画概要	<p>「能登の里山里海」は、農林水産業を中心に自然と調和した持続可能な暮らし方が続けられていることが評価され、2011年6月、先進国で初めて世界農業遺産に認定されました。</p> <p>奥能登の山あい広がる「春蘭の里」は、山菜やきのこなど恵み豊かな山、川、農地といった里山の魅力が凝縮された集落で、集落をあげて農家民宿に取り組んでいます。</p> <p>農家のお宅への民泊を通じて、昼は野菜の収穫や川遊びなど里山の暮らしを体験し、夜は囲炉裏端で心づくしの手料理を味わい農家のお父さんお母さんと語り合います。農家の方と生活を共にすることで、自然に寄り添う暮らし方や里山保全と農村の関係について学びます。</p>			
設定期間	通年 ※プログラムによっては季節限定のものがあります。 詳しくはお問合せください。	外国語対応	英語・中国語・韓国語	
販売価格 (料金/税込)	高校生 13,200 円 中学生 13,200 円 ※宿泊料(1泊2食) 11,000円+体験料2,200円			
企画内容 (詳細)	<b>【事前学習】</b> ・地方における過疎高齢化、集落の現状について調べる。 ・能登地域が「世界農業遺産」に認定されたことの意義について考えてみる。			
	<b>【当日の流れ・学習内容】</b> ・入村式 ・春蘭の里の取組紹介(セミナー) 春蘭の里という地域一体となった組織として里山の伝統や環境を守ること等について説明します。 ・里山の暮らし体験(グループ毎に各民宿に分かれて様々な体験学習に取り組みます) ー農作業体験(野菜の収穫、山菜・キノコ採りなど) ー生活・文化体験(薪割り、魚釣り、川遊び、ミニほうきづくり、草履づくり、草木染など) ※里山の暮らし体験は1泊2日の滞在中1～3つ体験することが可能です。 プログラムの組み合わせについてはこちらから提案します。 ・農家での民泊体験(農家民宿ごとに宿泊し農家の暮らしを体験) 農家の方と一緒に囲炉裏を囲み、地元の食材で調理した料理を食べながら、自然の恵みを取り入れた持続可能な暮らしの知恵について学びます。 ・離村式			
	所要時間	1泊2日が基本 体験のみの対応も可能です。		
	実施場所	(入村式、離村式、セミナー) 交流宿泊施設「こぶし」、(その他) 各農家民宿		
	所在地	石川県鳳珠郡能登町宮地1-2-1 (交流宿泊施設こぶし)		
	アクセス	金沢駅から車で約2時間、能登里山空港から車で20分		
	駐車場	あり(大型バス15台可)		
	当日準備物	汚れても良い服装、帽子、軍手		
	<b>【事後学習】</b> ・里山里海の暮らしを未来につなぐために、自分たちができることについて考えてみる。 ・普段の自分の生活を振り返り、環境やエネルギーの問題について考えてみる。 ・自分たちが暮らす地域(or祖父母の家など身近な地方)が抱える課題、地域活性化について考えてみる。			
	最少受付人数	5名	事前予約	要予約(2年前まで)
最大受付人数	350名	予約先電話番号	0768-76-0021	
受入可能時間	8:00~18:00	予約先FAX番号	0768-76-1214	
精算方法	当日現金・後日請求書払い ※旅行会社のクーポン払いなし			
取消料	当日及び前日のキャンセルは100%			
その他 (注意事項等)	・田植え、稲刈りなど大人数で体験できるプログラムもあります。実施時期と体験料金については別途お問合せください。 ・上記販売価格は1泊2食の宿泊料金と体験料金が含まれています。 ・体験のみで訪問をご希望の場合は体験料が異なるため、別途お問合せください。 ・1泊2日の場合到着時間によって体験内容が異なりますので、詳しくはお問合せください。 ・修学旅行催行日の1年前までに確定かどうかの連絡を入れてください。			
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的対策	独自のガイドラインを作成し、各農家民宿に周知しています。		
問合せ先	一般社団法人春蘭の里	電話番号	0768-76-0021	
	担当者	多田 真由美、薩摩 浩美	メールアドレス	shunran@shunran.info
	URL	https://shunran.info/		

企画名	直して使い続けることでやさしい消費をお助け！輪島工房長屋内「なおしもん」		
SDGs目標	8・11・12		
学習のポイント	昔ながらの「直して使う」技術に触れ、責任ある消費について学ぶ		
企画概要	<p>輪島工房長屋内の「なおしもん」は漆器をはじめ様々な工芸品の修理を行う工芸の修理屋さん。「なおしもん」の見学、職人さんとの交流を通じて、「いいもの」を使い続ける魅力を学びます。見学後には輪島塗の「My箸づくり体験」で実際に使い続けられるお気に入りの道具を手に入れよう。様々なSDGs目標と結びついている輪島塗を深く知ることで、SDGsを総合的に学びます。</p> <p>→輪島塗のSDGs要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工程ごとに専門の職人が分業して生産を行い、一つの商品を仕上げるのに多くの職人が関わっています。 【目標8：働きがいも経済成長も】</li> <li>・輪島塗で作られたキリコなど、歴史的に地域のコミュニケーションや祭りの中心にあり続けています。 【目標11：住み続けられるまちづくりを】</li> <li>・時間が経過しても修理して使うことができるので、限りある資源を無駄にすることがありません。 【目標12：つくる責任つかう責任】</li> </ul>		
設定期間	通年 (休業日：1月第2週、毎週水曜日)	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	高校生 1,900 円 中学生 1,800 円		
	※体験料には輪島キリコ会館入館料も含まれています。		
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	・輪島塗の歴史や特徴（堅牢さ・修復によって半永久的に使える等）や製造工程について学ぶ。【オンライン説明可能】		
	・安価な製品の大量生産、大量消費が環境に与える影響について調べる。		
	・身の回りに壊れても直して使っているものがあるか（またはないか）調べる。		
	【当日の流れ・学習内容】		
	①輪島キリコ会館の見学（30分） ※20名 輪島塗で作られたキリコ（お神輿のような担ぎ棒のついた巨大な灯笼）を見学、輪島塗の実物に触れることで輪島塗の質感や地域のアイデンティティとして歴史を刻んできたことを体感します。		
	②「なおしもん」の見学、職人との交流（30分） ※20名（輪島工房長屋内） 「なおしもん」を訪問し職人の技術を見学。職人へのインタビューを通じて「なおしもん」の成り立ちや、日々の仕事、修復のやりがい等を学びます。		
	※①、②は2班（20名/1班）に分かれて実施します。（1班：①⇒② 2班：②⇒①の順で進みます。）		
	③My箸づくり(沈金)（1時間） ※1・2班揃って40名で体験します。（輪島工房長屋内） 輪島塗の技法で長く愛着をもって使える箸を作ります。		
	所要時間	2時間	
実施場所	輪島工房長屋・輪島キリコ会館		
所在地	石川県輪島市河井町4部6番地1		
アクセス	金沢から能登里山海道約2時間、のと里山空港から自動車約20分		
駐車場	あり（大型バス10台可）		
当日準備物	特になし		
	【事後学習】		
	・体験で学んだことやMy箸を使ってみた感想を発表する。		
	・直して使い続けることで得られるものが何か考えてみる。		
	・輪島塗を次世代に継承するため、輪島塗の美しさと堅牢性（壊れにくく、長持ちすること）を活かして、普段使いできる品物を考えてみる。		
最少受付人数	2名	事前予約	要予約（前日まで）
最大受付人数	40名	予約先電話番号	0768-23-0011
受入可能時間	9:00～15:30	予約先FAX番号	0768-23-0041
精算方法	クーポン ※旅行会社のクーポンについてはお問合せください。・当日現金・後日請求書払い		
取消料	なし		
その他 (注意事項等)	特にありません		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的な対策	体験時、各テーブルにパーテーションを設置します。アルコールによる手指消毒の徹底します。	
問合せ先	輪島キリコ会館		電話番号 0768-22-7100
	担当者	大下 慎司	メールアドレス wajima-kiriko@bird.ocn.ne.jp
	URL	https://ringisland.jp/nagaya/	

企画名	塩づくりを通じた、能登島の限界集落存続の挑戦			
SDGs 目標	8・11・14・15			
学習のポイント	塩づくり体験や住民との語らいを通じて、里山里海の暮らしを未来につなげる方法を考える			
企画概要	<p>能登半島に抱かれた能登島にある長崎町は、美しい里山里海と人々の暮らしが共存する、たった24軒の限界集落。里山里海とともに育んできた集落の暮らしを未来につなげたいという住民の思いから始まったのが、能登島の海水を使った塩づくりです。</p> <p>昭和初期に行われていた、海水を薪釜で煮詰める塩づくりを復興し、能登の里山里海の恵みを結晶化させたうまみの強い「能登島の海塩」として商品化。塩を活用した長崎町オリジナルの加工品（味噌や干物など）生産による仕事の創出や、塩づくりを通じた地域内外の交流など、限界集落存続に向けた取り組みについて学びます。</p>			
設定期間	4月1日～11月30日	外国語対応	なし	
販売価格 (料金/税込)	高校生 1人あたり1,980円	円		
	中学生 "	円		
企画内容 (詳細)	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食卓の塩がどのように作られているか調べる。</li> <li>・塩づくりに欠かせない綺麗な海を維持するために里山が果たす役割を調べる。</li> <li>・地方における過疎高齢化や限界集落の現状について調べる。</li> </ul> <p>【当日の流れ・学習内容】 講師・体験指導：能登島自然の里ながさき 代表 源内 伸秀</p> <p>①能登島の自然や暮らし、舟小屋での塩づくりについての説明を聞きます（30分程度）</p> <p>②塩づくり体験（60分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに屋外で火を起し土鍋で海水を煮詰めて塩を作ります。</li> <li>・9月以降は塩を煮詰めている間、漁港の岸壁でタコ取りを体験できます。</li> </ul> <p>③地域住民の所得向上など限界集落存続への取組についての説明を聞きます（30分程度）</p> <p>④現地で作られた「能登島の海塩」をお土産として贈呈します。</p> <p>※更衣スペースあります。</p>			
	所要時間	2時間		
	実施場所	長崎漁港横		
	所在地	石川県七尾市能登島長崎町4-部43		
	アクセス	金沢駅から車で約100分、能登里山空港から車で60分		
	駐車場	寄り道パーキング ながさき（大型バス 2台以上可）		
	当日準備物	汚れても良い服装、帽子、軍手 ※小雨時は、雨具を各自ご準備ください。		
		<p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限界集落の高齢化や人との繋がりの衰退、所得減少などの問題について自分なりの解決策を考えてみる。</li> <li>・自分たちが暮らす地域で、地域存続が危ぶまれているところ（例えば住民の大半が高齢者中心）がある場合、存続に向けた取組を考えてみる。</li> </ul>		
最少受付人数	20名	事前予約	要予約（1カ月前まで）	
最大受付人数	40名	予約先電話番号	0767-84-1113	
受入可能時間	10:00～17:00	予約先FAX番号	0767-84-1123	
精算方法	後日請求書払い			
取消料	前日キャンセル50%・当日キャンセル100%・連絡なしキャンセル100%			
その他 (注意事項等)	悪天候時(13m以上の強風・激しい雨天等)、プログラムを実施できない場合があります。 ※前日の雨も影響する事があります。			
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体の対策	手指消毒・検温		
問合せ先	能登島観光協会		電話番号	0767-84-1113
	担当者	竹内・出島	メールアドレス	notojima.info@gmail.com
	URL	http://www.notojima.org/		

企画名	伝統を今に受け継ぐ建具の町で、次世代への技術継承を考える		
SDG s 目標	4・8・12		
学習のポイント	建具職人との交流を通じて、伝統的な技術の継承について学ぶ		
企画概要	<p>組子細工とは、釘を使わずに木を模様に組み付ける木工技術のことをいいます。高度な技術を要します。和倉温泉に隣接する田鶴浜町では、1650年に寺院を建てるために尾張から指物師（木工品の専門職人）を招いて以来、「建具の町」として発展し全国に名を馳せています。</p> <p>本プログラムでは、田鶴浜建具の発祥を今に伝える東嶺寺（とうれいじ）を訪問し、戸障子・欄間を職人の解説を聞きながら見学します。また、実際に組子づくりを体験し、日本家屋が少なくなった現代における技術の継承について学習します。“楽しく学べ、思い出をお土産にできる、この組子体験”は一生の宝物となるでしょう。</p>		
設定期間	通年	外国語対応	通訳帯同の場合可
販売価格 (料金/税込)	高校生	3,000 円	
	中学生	3,000 円	
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	・自分の家にどのような建具（和風の戸、障子、襖、窓など）があるか調べる。		
	・自分の住んでいる地域の伝統工芸等の現状を調べる。		
	【当日の流れ・学習内容】		
	①東嶺寺を訪問し、高度な技術で作られた建具を職人の解説を聞きながら見学します。 →組子で作られた戸障子等の実物を鑑賞し、職人技術の高さをご覧ください。		
	②「和倉温泉お祭り会館」に移動し、田鶴浜建具の由来や歴史、日本家屋が減少する現代における生き残りや継承などの課題について職人から解説を受け、SDG s に当てはめて学習していただきます。		
	③組子づくり体験として、麻の葉模様の六角形のコースターを制作します。		
	④建具（組子）をとりまく課題や将来の可能性（どのようなことに転用できるか、どのような工夫ができるか）について話し合います。		
	所要時間	約2時間30分	
	実施場所	東嶺寺➡和倉温泉お祭り会館	
所在地	石川県七尾市和倉町2-13-1（和倉温泉お祭り会館1F 事務所）		
アクセス	JR金沢駅から車で約1時間20分、のと里山空港から車で約1時間		
駐車場	東嶺寺・和倉温泉お祭り会館		
当日準備物	筆記用具		
	【事後学習】		
	・田鶴浜建具を次世代に継承するため、普段の生活に溶け込むような組子製品を考えてみる。		
	・自分の住む地域の伝統工芸等を次世代に継承していくための取組について考えてみる。		
最少受付人数	20名	事前予約	要予約（1ヶ月前まで）
最大受付人数	100名	予約先電話番号	0767-62-1555
受入可能時間	9:00~17:00	予約先FAX番号	0767-62-2611
精算方法	クーポン ※旅行会社のクーポンについてはお問合せください。・当日現金・後日請求書払い		
取消料	当日100%、前日70%		
その他 (注意事項等)	特にありません。		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体の対策	検温、消毒	
問合せ先	和倉温泉観光協会		電話番号 0767-62-1555
	担当者	毛利 光歩	メールアドレス info@wakura.jp
	URL	https://www.wakura.or.jp/	

企画名	究極のオーガニック農産物で地域を活性化			
SDG s 目標	2・6・12・15			
学習のポイント	自然栽培による地域のブランド化を通じて、移住者を呼び込もうとする農村地域の挑戦を学ぶ			
企画概要	石川県羽咋市では、主要産業である農業を通じて移住者を呼び込み地域を元気にするため、日本で唯一、行政とJAが一丸となって、従来の生産手法の常識を覆した「自然栽培（無農薬・無肥料栽培）」に取り組み、究極のオーガニック農産物によるブランド化を目指しています。 地方の農業における「挑戦」のケーススタディとして、羽咋市での自然栽培の作業を実際に体験しながら、持続可能な社会づくりについて学びます。			
設定期間	4月～12月	外国語対応	英語	
販売価格 (料金/税込)	高校生 1人あたり1体験2,700円 中学生 //	円	円	
企画内容 (詳細)	【事前学習】 ・農業における栽培方法の違い（慣行栽培、有機栽培、自然栽培）について調べる。 ・自分たちが暮らす地域で行われている農業（農産物、栽培方法、出荷先）について調べる。 ・羽咋市で実践されている自然栽培の元となった「※奇跡のりんご」について調べる。 ※不可能といわれた無農薬リンゴの栽培を成功させた青森のリンゴ農家・木村秋則さんの実話を映画化したもの			
	【当日の流れ・学習内容】 1 羽咋市の農業を通じた地域振興の取組を紹介（セミナー、30分） ・なぜ羽咋市では地域振興の取組みとして「自然栽培」に力を入れているのか。 （自然栽培と地域振興の関係性について） ・はくい式自然栽培の特徴について。 ・自然栽培は従来の生産手法に比較してどのような価値があるのか。（農産物の品質、持続可能性） ・自然栽培による農産物の魅力発信と販路開拓について。 2 自然栽培の作業の実践 ※ご要望に合わせて対応します。（各1時間） ①田植え体験（4月～6月） ②野菜苗の定植体験（4月～6月） ③ぶどうの収穫、半生干しぶどう・生ぶどうジュースの試食体験（9月から10月まで） ④ピーマンの収穫・試食体験（8月から12月まで：最適期9月から10月） ⑤落花生収穫体験（10月頃） ⑥ニンジン収穫体験（7月） ⑦米収穫体験（10月～11月） ※雨天時に対応可能です。 ※更衣スペースがあります。			
	所要時間	約2時間		
	実施場所	邑知（おうち）の郷公園内 研修ほ場および研修施設		
	所在地	石川県羽咋市太田町と105番地		
	アクセス	金沢駅から車で約45分、能登里山空港から車で60分		
	駐車場	あり（大型バス5台可）		
	当日準備物	汚れても良い服装、帽子、軍手		
	【事後学習】 ・農薬や化学肥料を販売するJAが何故それらを使わない自然栽培を勧めているかについて考えてみる。 ・通常の農業手法よりも効率的とは言えない自然栽培が地域の活性化にどのように貢献するかについて考えてみる。 ・自分たちが暮らす地域（または祖父母の家など身近な人が住む地方）が抱える課題、地域活性化の取り組みについて考えてみる。			
	最少受付人数	10名	事前予約	要予約（1カ月前まで）
最大受付人数	100名	予約先電話番号	0767-26-3339	
受入可能時間	8:30～17:00	予約先FAX番号	0767-26-2161	
精算方法	後日請求書払い			
取消料	なし			
その他 (注意事項等)	上記プログラム料金は全プログラム共通の料金です。			
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的な対策	アルコール消毒、体温検知器 設置		
問合せ先	JAはくい		電話番号	0767-26-3339
	担当者	粟木（あわき）	メールアドレス	keizai@hakui.is-ja.jp
	URL	<a href="http://www.is-ja.jp/hakui/products/about.html">http://www.is-ja.jp/hakui/products/about.html</a>		

企画名	千里浜（ちりはま）で学ぶ、砂浜保全と海洋環境問題			
SDGs目標	11・12・13・14			
学習のポイント	千里浜の海岸浸食・海洋ゴミ問題を学び、私たちの便利な生活が海に及ぼす影響を考える			
企画概要	<p>日本で唯一自動車で行くことができる砂浜と日本海側に沈む夕日美しいことでも知られる千里浜は、海岸浸食が進み存続の危機に瀕しています。なぜ砂浜が削られていったのか地球温暖化や砂を大量に使うことの弊害などの観点から考えます。</p> <p>また、千里浜には多種多様な海洋ゴミが流れ着きます。海岸清掃を通じて海洋ゴミの実態を学び、海洋ゴミを使ったアート制作体験を通して楽しみながら環境問題や地域課題に対する当事者意識を獲得します。</p> <p>このプログラムを通じて私たちの便利な生活が海に及ぼす影響について考えます。</p>			
設定期間	通年	外国語対応	英語	
販売価格 (料金/税込)	～40名まで（1クラス想定）	3,000円		
	41名～80名まで（2クラス想定）	2,000円		
	81名～（3クラス以上想定）	1,000円		
	※1回あたりの受け入れ最大人数は80名。それ以上の場合は入れ替え2部制で実施します。詳細はお問合せください。			
企画内容 (詳細)	【事前学習】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜が浸食されて狭くなると、どのような問題が発生するか調べる。</li> <li>・浜辺で見たことがあるゴミについて、どんなものがあつたか話し合う。</li> <li>・普段自分たちが暮らしの中でどのようなゴミをどれだけ出しているかまとめてみる。</li> </ul>			
	【当日の流れ・学習内容】			
	①SDGsセミナー（20分）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千里浜の砂浜の過去と現在の変化やなぜ砂浜が危機に瀕しているか、地域全体で行っている砂浜保全の取り組みについて学びます。</li> <li>・海洋ゴミの現状と海に与える影響について学びます。</li> </ul>			
	②海岸清掃と一人一砂運動（40分）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな海洋ゴミが流れ着いているか確認しながら清掃活動を行います。</li> <li>・生徒一人一人が一握りの砂を砂浜にまくことで砂浜保全を実践します。 ※雨天時は中止となります。</li> </ul>			
	③海洋ゴミを使ったアート作品製作（100分）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれてSDGsの17のゴールの中から一つを選択し、そのゴールを海洋ゴミを使ってどのように表現するか考えながら作品制作を行います。</li> </ul>			
	④作品発表（20分）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した作品にタイトルをつけて作品に込めた思いを発表します。</li> </ul>				
所要時間	3時間			
実施場所	能登千里浜レストハウス（石川県羽咋市千里浜町4-1）			
アクセス	JR金沢駅より車で約50分。金沢森本ICより車で約40分			
駐車場	普通自動車100台（大型バス駐車可）			
当日準備物	持ち物：不要 工作活動をするので体操服に着替えるのが理想的ですが、難しい場合は制服でも実施は可能です。			
【事後学習】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜を守るために一人ひとりができることが何か考えてみる。</li> <li>・自分たちがどんな海洋ゴミを拾ったか振り返り、ゴミの種類に応じた削減策を考えてみる。</li> <li>・海洋ゴミを使ったアートのように、海洋ゴミ問題を周囲の人に身近に感じてもらうためにはどうしたらよいか考えてみる。</li> </ul>				
最少受付人数	10名	事前予約	2か月前まで	
最大受付人数	80名 (2回開催で最大160名)	予約先電話番号	0767-22-2141	
受入可能時間	10:00～16:00	予約先FAX番号	0767-22-6271	
精算方法	クーポン（対応できる旅行会社はお尋ねください）・当日現金・後日請求書払い			
取消料	<p>[キャンセル規定] ※前日弊社売店営業時間終了から当日といたします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全部取り消しの場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日含まず7日前から前日まで 利用料金の20%</li> <li>・利用日当日 利用料金の50%</li> <li>・取消手続きなし・無連絡 利用料金の100%</li> </ul> </li> <li>●一部取り消しの場合 お問い合わせください。</li> </ul>			
その他 (注意事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・250名まで対応可能な食事会場もありますので、体験前後のお食事対応も可能です。</li> <li>・自社生産の能登野菜や地元で獲れた海産物を使った昼食もご用意できますので、ぜひご利用ください。（税込1,200円～2,000円内でご予算に応じられます）</li> <li>・一部天候不具合により当時実施できないプログラムもあります。</li> </ul>			
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的な対策	手指消毒・検温・館内の定期的な換気		
問合せ先	能登千里浜レストハウス		電話番号	0767-22-2141
	担当者	任田（とうだ）	メールアドレス	tohda@notofood.com
	URL	https://www.chirihama.co.jp/		

企画名	里山集落 直江谷(なおえだに)で考える、持続可能な暮らし		
SDGs目標	6・11・15		
学習のポイント	林業を通じた森林保護と地域活性化の取り組みから、持続可能な地域づくりを考える		
企画概要	<p>金沢駅から車で約30分で行ける里山の集落「直江谷（なおえだに）」では、そこに生息する生きものと人々が共存しながら暮らしています。</p> <p>現代の里山は、過疎高齢化と国産木材利用の低迷によって人と森の関係が希薄になり、森林の荒廃が進んでいるという実態があります。当プログラムではこの地で「環境保全」「採算性」を両立して森林の価値創造おこなう自伐型林業を行っている山守人の女性が案内する森林ウォーキングを通じて、人が手を加えることで森を守っていく取組について学びます。</p> <p>また、この地区は限界集落の問題も抱えています。外部の訪問者を巻き込んでの里山体験ワークショップなど里山での暮らしや景観を未来に残すための取組を学びます。</p> <p>直江谷の森づくりと地域活性化の取組から、持続可能な地域づくりについて考えます。</p>		
設定期間	4月～11月 (休業日：毎週土・日曜日・祝日)	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	高校生 3,000 円 中学生 3,000 円 その他 ( ) 円		
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「森が持つ機能」について調べる。(水源のかん養・土壌保護・生態系の保全・人の心の癒しなど)</li> <li>・自分たちの暮らしにおいて、森の恩恵を普段からどのような形で受けているか考えてみる。</li> <li>・地方における過疎高齢化や限界集落の現状について調べる。</li> </ul>		
	【当日の流れ・学習内容】		
	①直江谷会館到着後、棚田が広がる美しい田園風景の中を歩きます。		
	②森林ウォーキングを通じて森林浴効果を体感するとともに、自伐型林業を通じた森林保護についての説明を聞きます。 (①と②通じて1時間程度)		
	③直江谷会館に戻り、直江谷の持続可能な地域づくりの取組の説明を聞きます。(30分)		
	④直江谷で収穫されたお米のおにぎりや味噌汁、つけものを食べながら、体験したことを振り返ります。(1時間)		
	所要時間	約2時間30分(食事・着替え等含む)	
	実施場所	直江谷会館、直江谷の地域協力者の田畑	
	所在地	石川県金沢市北方町ト38番地1(直江谷会館)	
アクセス	金沢駅から車で30分		
駐車場	あり(大型バス1台)直江谷会館前		
当日準備物	雨天の場合、雨具(かっぱ) ※山歩きをしますので、歩きやすい運動靴等でお越しください。		
【事後学習】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市と里山の生活を比較し、それぞれにあるものかないものを考えてみる。</li> <li>・直江谷を参考に、限界集落の維持・活性化に向けた取組を考えてみる。</li> <li>・自分の地域の森林環境を維持していくための取組を考えてみる。</li> </ul>			
最少受付人数	10名	事前予約	要 2ヶ月前まで
最大受付人数	35～40名程度	予約先電話番号	076-207-7004
受入可能時間	9:00～12:00	予約先FAX番号	050-3044-3250
精算方法	当日現金・後日請求書払い		
取消料	前日50% 当日100%		
その他 (注意事項等)	週に1校程度受け入れ可。人数についても一度ご相談ください。		
感染防止対策に関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体の対策	手指消毒・検温	
問合せ先	株式会社できる		電話番号 076-207-7004
	担当者	杉本 高龍	メールアドレス dekiru@kg7.so-net.ne.jp
	URL	http://dekiru-jp.com	

企画名	発酵食のまち・金沢市大野町で食育 まごはやさしい「こ」! ?													
SDG s 目標	3・1 2													
学習のポイント	醤油の産地で、発酵食品の魅力と食文化の持続可能性について学ぶ													
企画概要	<p>国内で伝統食が見直され、また和食が世界で認められる今、醤油や味噌などの発酵食品は、わが国の食文化を支える存在とますます注目が集まっています。</p> <p>そして、かつて北前船の寄港地として栄えた金沢市大野町は、約400年前から醤油の五大産地のひとつとして全国にその名を馳せ、現在でも醤油の生産者は約20社を数えます。</p> <p>本プログラムでは、1911年創業の老舗 ヤマト醤油味噌「ヤマト・糀パーク」を訪問し、ガイド付きツアーや体験を通じて、醤油・味噌などの発酵食品の魅力に迫ります。糀のパワーに触れ、身近な発酵食品について理解を深めさまざまな気付きを得ることで、わが国の食文化を持続可能なものとする取り組みについて考えるきっかけを提供します。</p>													
設定期間	月・金曜日の週2日のみ受入	外国語対応	なし											
販売価格 (料金/税込)	体験料：1,320円													
企画内容 (詳細)	【事前学習】													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの発酵食品について、どんなものがあるか調べる。</li> <li>味噌や醤油などの発酵食品が、なぜ昔からわれわれの食生活に取り入れられているのか、なぜ体にいいのか考えてみる。</li> </ul>													
	【当日の流れ・学習内容】													
	(1) 「糀蔵」ガイド付きツアー (約30分)													
	<p>ヤマト醤油味噌の歴史や醤油・味噌について詳しい説明を聞きます。</p> <p>金沢とヤマト醤油味噌の歴史を振り返りながら、金沢市大野町が産地として発展したヒミツに迫り、未来に向けた新たな食生活への提案 (一汁一菜に一糀) について学びます。</p> <p>※糀の力を手軽に体験できる「手湯 (てゆ) 体験」もできます。</p>													
	(2) 「みそぼーる」作り体験 (約40分)													
	<p>ヤマトの生味噌で、自分だけのオリジナル即席お味噌汁を作ります。</p> <p>かわいくラッピングして、ミニギフトにできます。(お土産にできます)</p>													
	(3) 自由見学 (約20分)													
	<p>ヤマト糀パークの敷地内は、昔ながらの風情ある街並みが広がり、市内中心部とはまた違う「もう一つの金沢」を感じることができます。</p> <p>また、「ひしほ蔵」(商品ルーム) では蔵元おすすめの醤油や味噌をはじめ、様々な発酵食品が揃い、金沢の豊かな発酵文化を感じることができます。</p>													
	<table border="1"> <tr> <td>所要時間</td> <td>約1時間30分</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>株式会社ヤマト醤油味噌「ヤマト・糀パーク」</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>金沢市大野町4丁目170</td> </tr> <tr> <td>アクセス</td> <td>金沢駅から車で約15分</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>大型バス駐車場あり</td> </tr> <tr> <td>当日準備物</td> <td>なし</td> </tr> </table>			所要時間	約1時間30分	実施場所	株式会社ヤマト醤油味噌「ヤマト・糀パーク」	所在地	金沢市大野町4丁目170	アクセス	金沢駅から車で約15分	駐車場	大型バス駐車場あり	当日準備物
所要時間	約1時間30分													
実施場所	株式会社ヤマト醤油味噌「ヤマト・糀パーク」													
所在地	金沢市大野町4丁目170													
アクセス	金沢駅から車で約15分													
駐車場	大型バス駐車場あり													
当日準備物	なし													
【事後学習】														
<ul style="list-style-type: none"> <li>発酵食品が私たちの体や生活にどのような影響を与えるのか考えてみる。</li> <li>ヤマト味噌は昔ながらの木桶を用いて生産しており、あえて完成までに時間をかける製法を続けています。こうした手間暇かけた製品の価値は何か？それはなぜかについて考えてみる。</li> <li>「一汁一菜に一糀」のメニューを考え、家庭で実践してみる。(家族で話し合ってみる)</li> </ul>														
最少受付人数	10名 (応相談)	事前予約	要予約 (30日前まで)											
最大受付人数	20名	予約先電話番号	076-268-5289 ※水曜は定休日のため不通											
受入可能時間	15:00~	予約先 F A X 番号	076-208-3955											
精算方法	事前振り込み ※お問い合わせ時に必ずご相談ください。													
取消料	キャンセルの場合は3日前までの連絡をお願いします。当日キャンセルは全額申し受けます。													
その他 (注意事項等)	事前振り込みを希望の際は、手続等に1か月程度要します。 お支払方法については、お問い合わせ時に必ずご相談ください。													
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しています												
	具体的な対策	検温・消毒・体温チェック名簿※様式任意												
問合せ先	株式会社ヤマト醤油味噌		電話番号	076-268-5289										
	担当者	西元 真希	メールアドレス	hishihogura@yamato-soysauce-miso.co.jp										
	U R L	https://www.yamato-soysauce-miso.co.jp/												

企画名	竹書をアートで解決！～放置竹林で行うアート制作プログラム～														
SDG s 目標	1 2・1 3・1 5														
学習のポイント	竹を使ったアート制作を通じて、放置林の解決方法について考える														
企画概要	<p>竹は中山間地域の身近な資源として長年にわたり様々な分野で活用されてきましたが、時代の変化とともに竹材利用の機会が減少しています。そして、竹林所有者の高齢化や後継者不足等により管理されない放置竹林が増加し社会問題となっています。本プログラムでは、金沢市内の放置竹林から竹を切り出し、生徒のみなさんが協力してサステナブルアート※を制作します。放置竹林という問題に触れながら、同時に、捨てられてしまう素材を用いてアートを制作することで新たな価値の創造について考えます。そして、この竹は竹炭にして土壌改良にも役立てることが可能です。この竹の利用方法を通じて循環型社会や持続可能な形での環境問題について考えます。</p> <p>※サステナブルアートとは そのままで捨てられてしまう素材をアート作品に使うことで新たな価値を与えて同時に環境問題の解決にも一石を投じる芸術作品のことを指します。</p>														
設定期間	4月1日～10月31日 (休業日：積雪時期)	外国語対応	なし												
販売価格 (料金/税込)	高校生 5,000円 中学生 5,000円														
企画内容 (詳細)	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の放置林の問題について調べる。</li> <li>身の回りの竹製品について調べる。</li> </ul> <p>【当日の流れ・学習内容】</p> <p>①10～20名の場合はkey Factorに。21～40名の場合は石川県青少年総合研修センターにそれぞれ集合します。</p> <p>②近隣の放置竹林に移動し、現場を見学し竹を伐採します。(30分) ※竹伐採および竹の竹林からの運び出しは安全上の理由で一部の生徒さんが行います。</p> <p>③作業場に竹を運搬し、グループ(5～6名)ごとに竹アート「竹毬」または「竹灯籠※LEDライト付」を制作します。(約1時間30分) 体験日が決定しましたら、事前に制作するアートを決めていただきます。</p> <p>★オプションとして、学校様オリジナルの大きなアート作品を制作することも可能です。 (オリジナル作品とは：竹灯籠のオリジナルの柄の制作、竹灯籠と竹手毬を掛け合わせたひとつの作品作り) ただし、オリジナル作品を作成する場合のみオンラインレクチャー(50分)受講が必要となります。(別途講師料：3万円) ・どのようなアート作品を作成するかご希望を事前に確認します。</p> <p>④制作終了後活動の振り返りをします。(30分) ※雨天時は、放置竹林には行かず、事前に当社が用意した竹材を元に竹アートを制作します。</p> <p>●制作した竹アートの取扱いについて 【制作した竹アートを学校様にお送りし、展示をすることが可能です】 (別途送料が必要です：参加人数・発送先・制作物の大きさによって送料が異なります。ご相談ください。) 文化祭などでライトアップイベントを行い、幻想的な竹アート空間を創ってみてはいかがでしょうか。 生徒様が制作した作品を展示することで、生徒が学んだ体験を周囲の人たちに伝えることができます。 【送付不要の場合、整備後の竹林に展示します】 年に一度秋にライトアップを行い幻想的な竹アート空間が生まれるイベントを開催しています。そのイベント時にはみなさんの作品を展示し、その映像を学校様にお送ります。イベント後は、竹アートを竹炭化して、地域の土壌改良に役立てています。 ご希望の学校様には、竹炭をお送りすることも可能です。学校の花壇等の土壌改良にご利用ください。 ※別途料金要。(10,000円/段ボール1箱/約1クラス(炭化作業代、送料込み))</p> <table border="1"> <tr> <td>所要時間</td> <td>2時間30分(雨天時は2時間)</td> </tr> <tr> <td>実施場所①</td> <td>Key Factor(石川県金沢市古郷町0-77)</td> </tr> <tr> <td>実施場所②</td> <td>石川県青少年総合研修センター(石川県金沢市常盤町2 1 2-1)</td> </tr> <tr> <td>アクセス</td> <td>①JR金沢駅から車で40分、②JR金沢駅から車で20分</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>あり(大型バス 1台可)</td> </tr> <tr> <td>当日準備物</td> <td>体操服等動きやすく汚れてもよい長袖長ズボン、靴、軍手</td> </tr> </table> <p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代のライフスタイルにおける竹の新たな活用方法について考えてみる。</li> <li>竹アート以外の放置竹林解決策について考えてみる。</li> <li>自分の周りで捨てられているもので視点を変えてみると別の方法で利用できる素材がないか考えてみる。</li> </ul>			所要時間	2時間30分(雨天時は2時間)	実施場所①	Key Factor(石川県金沢市古郷町0-77)	実施場所②	石川県青少年総合研修センター(石川県金沢市常盤町2 1 2-1)	アクセス	①JR金沢駅から車で40分、②JR金沢駅から車で20分	駐車場	あり(大型バス 1台可)	当日準備物	体操服等動きやすく汚れてもよい長袖長ズボン、靴、軍手
所要時間	2時間30分(雨天時は2時間)														
実施場所①	Key Factor(石川県金沢市古郷町0-77)														
実施場所②	石川県青少年総合研修センター(石川県金沢市常盤町2 1 2-1)														
アクセス	①JR金沢駅から車で40分、②JR金沢駅から車で20分														
駐車場	あり(大型バス 1台可)														
当日準備物	体操服等動きやすく汚れてもよい長袖長ズボン、靴、軍手														
最少受付人数	10名	事前予約	要予約(30日前まで)												
最大受付人数	40名	予約先電話番号	090-2833-1468												
受入可能時間	9:00-16:00	予約先FAX番号	FAXなし(予約時はメールにてやりとりをお願いします)												
精算方法	当日現金・後日請求書払い														
取消料	プログラム：10日前まで無料、2～10日前まで30%、前日50%、当日100%														
その他 (注意事項等)	<p>・当プログラムは、人数により開催場所が異なります。 10～20名 Key Factor(石川県金沢市古郷町0-77) 21～40名 石川県青少年研修センター(<a href="http://www.ishikawa-seisoken.jp/">http://www.ishikawa-seisoken.jp/</a>)</p>														
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。													
	具体的対策	手指消毒、検温													
問合せ先	kanazaWAZA研究所		電話番号 090-2833-1468												
	担当者	澤田 雅美	メールアドレス kanazawaza@gmail.com												
	URL	<a href="https://redruna10.wixsite.com/kanazawaza">https://redruna10.wixsite.com/kanazawaza</a>													

企画名	もったいないから旅の思い出に～九谷焼の廃材を使ったデコレーション体験～		
SDGs 目標	8・12		
学習のポイント	九谷焼の廃材を利用した創作体験を通じ、つくる責任とつかう責任について考える		
企画概要	<p>九谷焼の始まりは江戸中期初頭とされており、その歴史の深さと豪快で渋い独特の色調で色絵磁器として日本を代表する地位を誇っています。一方、制作工程の中で少しでも傷や欠けが生じると商品にならず、磁器はリサイクルすることが難しい素材であることから産業廃棄物として捨てられてしまう現状があります。</p> <p>そこで片岡光山堂では、廃棄される九谷焼の不良品を細かく砕きカラフルなフォトフレームのデコレーション体験の材料として活用（アップサイクル）することで持続可能なものづくりを実現しています。当プログラムでは、九谷焼デコレーション体験を通じて「つくる責任、つかう責任」について考えます。</p> <p>また片岡光山堂は、九谷焼の歴史を大事にしながら、新たな担い手による新しい付加価値の創造や未来に伝統工芸を継承していく取組に力を入れています。片岡光山堂の説明を聞き、昔から続いてきたもの・伝統のあるものを未来につなげる方法について考えます。</p>		
設定期間	通年 (休業日：毎週水曜日)	外国語対応	英語
販売価格 (料金/税込)	高校生 1,500 円 中学生 1,500 円		
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九谷焼のように、リサイクルは難しいがアップサイクルによって新たな価値が創造されているような事例が他にもないか調べる。</li> <li>・少数生産かつ高額でありその美術的価値が永く継承される伝統的製法による九谷焼と、身の回りにあふれている大量生産・大量消費の製品を、「つくる責任とつかう責任」という視点で双方の違いについて考えてみる。</li> </ul>		
	【当日の流れ・学習内容】		
	①九谷焼の歴史や技法について簡単な説明を聞きます。事前学習で疑問に思った事などを質問します。(20分程度)		
	②九谷焼の不良品を活用した自分だけのオリジナルフォトフレームを制作します。(30分程度) 九谷焼の不良品をモザイクタイルのように細かく砕き、フォトフレームに装飾を施します。		
	③伝統工芸SDGsセミナー(30分) なぜ金沢には伝統工芸がこれほど受け継がれてきたのか。伝統工芸の新たな世代の担い手の取組について説明を聞きます。地域と伝統工芸はどのように関わってきたのか。これらのテーマを通じて持続可能な地域と伝統の継承について考えます。		
	④九谷焼の湯呑でお茶をいただきます。(15分) お茶が注がれた九谷焼の色彩や形的美しさを間近に見て、普段私たちが使っている食器との違いについて考えます。		
	所要時間	1時間30分～2時間	
	実施場所	片岡光山堂体験コーナー	
	所在地	石川県金沢市兼六町2-1	
アクセス	兼六園【桂坂口】を出てすぐ右手にあります		
駐車場	駐車1台可 満車の際は、石川県兼六園駐車場に駐車ください		
当日準備物	特になし		
最少受付人数	【事後学習】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトフレーム以外で、九谷焼の不良品の活用方法を考えてみる。</li> <li>・「つくる責任、つかう責任」という視点から、伝統工芸品と身の回りの大量生産されている製品の違いについて考えてみる。</li> <li>・若い世代にとって伝統工芸を身近なものにするためには何が必要かについて考えてみる。</li> </ul>		
	4名	事前予約	1週間前までにご予約ください
最大受付人数	20名	予約先電話番号	076-221-1291
受入可能時間	10:00～16:00	予約先 F A X 番号	076-264-0798
精算方法	後日請求書払い		
取消料	なし		
その他 (注意事項等)	体験後店内に使用できる500円分のクーポン券を1名1枚ずつお渡しします。安価なお土産品も多数販売しています。		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的対策	飛沫感染防止のため、アクリル板の設置、空気清浄機等の換気の実施	
問合せ先	有限会社片岡光山堂		電話番号 076-221-1291
	担当者	片岡 瑞貴	メールアドレス kouzandou@po4.nsk.ne.jp
	URL	https://www.kataoka-kouzandou.co.jp	

企画名	名園の美しさを未来に継承～兼六園で学ぶSDGs～			
SDGs目標	6・8・11・15			
学習のポイント	兼六園の美の秘密を紐解き、名園の未来への継承について学ぶ			
企画概要	<p>兼六園は、歴代の加賀藩主により長い年月をかけて形づくられた我が国を代表する大名庭園であり、石川県の修学旅行では必見の場所となっています。</p> <p>当プログラムでは、兼六園の美しさを未来に継承する様々な取り組みを通じてSDGsについて学びます。兼六園では、江戸時代の開園当初から、動力を一切使わずに園内に水を巡らす仕組みが備えられており、その水は曲水（庭園の中を曲がりくねって流れる小川）として庭園美を演出しています。また、四季折々の美しさをみせる名木や花々の保全、そして兼六園の冬の風物詩とされる「雪吊り」など、多くの人々の手によってその美しさが継承されてきました。今回は専用の学習シートを用いて園内を巡り考察することで、SDGsの観点から名園への理解を深めます。</p>			
設定期間	通年（年末年始は休業）	外国語対応	なし	
販売価格 （料金／税込）	高校生 1,000 円 中学生 1,000 円 ガイド費（ガイド1名貸切料金）10,000 円			
企画内容 （詳細）	【事前学習】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>兼六園の特徴を、各地の日本庭園を比較してまとめる。</li> <li>庭園を維持・管理する仕事はどのようなものがあるか調べる。</li> </ul>			
	【当日の流れ・学習内容】			
	●兼六園SDGs学習ガイドツアー			
	ガイドとともに兼六園の保全活動や歴史を紐解きながら、園内のSDGsと関連がある場所を学習シートに沿って巡ります。ガイドは各スポットにおけるヒントだけお伝えします。生徒のみなさんはそれがなぜSDGsと結びつくのかを考えながら進みます。ガイドツアー終了後は茶店にて学習内容を発表していただきます。			
	①兼六園 桂坂口ご集合			
	②ガイドの案内で園内をめぐります。（約60分） ⇒ツアーガイド1人あたり20名、通常はマイクでのご案内です			
	③茶店にて学習内容の発表会を行います。			
	④茶店にてお抹茶とお菓子をお召し上がりいただけます。（③と④合わせて約60分）			
	対応人数：40名（ガイド2名体制） ※2クラス以上で来園希望の場合は、ご相談ください。			
所要時間	約2時間			
実施場所	特別名勝「兼六園」			
所在地	石川県金沢市兼六町1			
アクセス	金沢駅から約10分、北陸自動車道 森本ICから約20分・金沢東ICから約30分・金沢西ICから約30分			
駐車場	大型バス12台可			
当日準備物	筆記用具			
最少受付人数	1名	事前予約	要予約	
	最大受付人数	40名	予約先電話番号	076-221-6453
	受入可能時間	9:00～16:00	予約先FAX番号	076-221-6453
	精算方法	当日現金・後日請求書払い		
取消料	2日前まで 取消料なし 前日及び当日 50%×取消人数 が発生いたします。			
その他 （注意事項等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記プログラム費用にはガイド料金は含まれていません。ガイド費 10,000円/ガイド1名貸切料金が別途必要となります。</li> <li>訪問する茶店は人数や当日の予約状況を加味して当協会でお店を決定いたします。</li> <li>インカム（非接触ガイド）の貸し出しを希望される場合は別途予約、費用が必要です。1名につき200円となります。</li> <li>兼六園の入場には上記プログラムとは別に入園料が必要です。小学校・中学校・特別支援学校（特別支援学校は高等部を含む）による学習活動のみ減免となります。減免申請は専用の申請書で学校長名で入園日1週間前までに手続きをお願い致します。申請方法は<a href="https://www.siro-niwa.com/download/sinsei.php">https://www.siro-niwa.com/download/sinsei.php</a>をご参照ください。</li> </ul>			
感染防止対策に関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的な対策	①園内の感染防止対策 ②ガイドがフェイスシールドを装着 ③インカムによる非接触ガイド（40台、予約制、別料金） ④茶店の感染防止対策		
問合せ先	協同組合兼六園観光協会		電話番号	076-221-6453
	担当者	岡田基義	メールアドレス	info@kenrokuen.or.jp
	URL	<a href="http://kenrokuen.or.jp/">http://kenrokuen.or.jp/</a>		

企画名	創業100年の老舗工房で、加賀友禪の歴史と今を体感！		
SDG s 目標	4・8・12		
学習のポイント	加賀友禪の工房を訪問し、伝統文化の持続可能性について学ぶ		
企画概要	<p>金沢のまちでは今なお着物を身に付ける機会が多く、訪れる観光客もまた着物でのまち歩きを楽しんでいます。そして、この地に受け継がれてきた加賀友禪は、華やかな色づかいと絵画のように美しい模様が特徴です。</p> <p>当プログラムでは、ひがし茶屋街からもほど近い約100年の歴史をもつ加賀友禪の工房を訪問し、友禪の歴史や商品開発に向けた活動や課題を聞き、加賀友禪の技法を体験することを通じて、伝統文化を持続可能なものとする取り組みについて考えます。</p> <p>着物は日本を代表する文化の1つであり、グローバル化がますます進む現代では、自国の文化について理解を深め説明できることが大事です。加賀友禪を通じ「伝統文化をなぜ守っていかなくてはならないか。なぜ高価で価値があるのか。ものを大切にするとはどういうことか」等について考える機会を提供します。</p>		
設定期間	通年 (休業日：毎週土日祝日)	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	体験料：2,800円		
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	・両親や祖父母に、加賀友禪（着物）について聞く。 加賀友禪（着物）を持っているか、どんなときに着るか、着物そのものに対するイメージなど		
	・なぜ金沢では多くの伝統産業が受け継がれてきたのか考えてみる。		
	【当日の流れ・学習内容】		
	(1) 加賀友禪の業界で唯一残っているプロデューサー（悉皆） 金丸修一氏から友禪の歴史について聞きます。また、人間国宝の着物から加賀友禪の特徴について学ぶとともに、加賀友禪の新商品開発に取り組む金丸絵美氏と一緒に、友禪の課題や未来に向けた活動などについて考えます（約30分）		
	(2) 友禪作家弟子入り体験（約60分） 生徒自身が考えたデザインを彩色し、アートパネルを制作します。 デザイン案を事前に工房に送付いただきます。訪問が決まりましたら、工房よりデザインの説明書を送りますので、そちらを参考にデザイン案を描いて事前（約2週間前まで）にFAXまたはメールにて送付してください。 仕上がった作品は後日、学校にお届けします。 (作家による最終的な仕上げ等の時間も含めて約1ヵ月後の発送予定です)		
	所要時間	1時間30分	
	実施場所	金丸染工	
	所在地	金沢市材木町29-4	
	アクセス	橋場町バス停から徒歩約10分 ※心配な方はバス停まで迎えに行くことも可能です。	
駐車場	なし		
当日準備物	なし（汚れてもいい服装でお越しください）		
最少受付人数	【事後学習】		
	・現代の生活で、加賀友禪の技やデザインを取り入れられる製品があるか考えてみる。		
	・大量消費の衣料品が溢れている中で、加賀友禪を身に着けることの意義について考えてみる。 ・伝統文化を守りながら、作家の働きがいを持続するためにはどのようなことが必要か考えてみる。		
最大受付人数	4名	事前予約	要予約（30日前まで）
受入可能時間	15名×2回 (午前1回・午後1回) で受け入れ可能	予約先電話番号	076-221-2262
精算方法	10:00～16:00	予約先FAX番号	076-263-7831
取消料	後日請求書払い		
その他 (注意事項等)	体験日の14日前以降 100%		
感染防止対策に関する取組事項	当日欠席された場合はこちらでアートパネルを制作し送付させていただきます。 プログラム料金には学校様への制作物の配送料が含まれております（指定場所一括）。		
	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
問合せ先	具体的対策	手指の消毒、検温、マスクの着用、体験場所のテーブルごとのパーティション設置	
	担当者	有限会社 金丸染工	電話番号 076-221-2262
	URL	金丸 絵美	メールアドレス kaga724yuzen@gmail.com
		https://kaga724yuzen.wixsite.com/kanamaru-senkou	

企画名	廃線跡をたどり、地方鉄道が抱える課題と存在意義について考える		
SDGs 目標	11・12		
学習のポイント	地方鉄道存続のための取り組みを体験し、廃線が人々の生活に及ぼす影響を考える		
企画概要	<p>金沢市と白山市を結ぶ北陸鉄道石川線はかつて地元の人の通勤・通学など日常の足として親しまれていましたが、時代の変化とともに一部が廃線の憂き目に遭っており、路線の維持に向けて努力が続けられています。</p> <p>本プログラムでは、レトロな電車（首都圏の私鉄の車両を再利用）を特別運行し、洗車機の中を通過する体験をしたり、車両工場の様子を見学したりと、様々な体験を通じ、地方鉄道が路線を持続するための知恵と工夫を感じることができます。また、廃線路の周辺をガイド付きで散策し、廃線が人々の営みに与えた影響について考えます。</p> <p>私たちの生活に必要な交通手段の一つである「電車」を通じ、便利な生活を優先するがゆえに進んでいく環境問題や、持続可能な社会をつくるための地方の公共交通機関のあり方を考える機会を提供します。</p>		
設定期間	4月1日～12月中旬	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	高校生 1名あたりの単価設定はありません 中学生 1名あたりの単価設定はありません その他 1グループ（20名）22,000 円		
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの周りで利用者の少ない公共交通機関がないか調べる。</li> <li>公共交通機関がなくなると、人々の生活にどのような影響を受けるか考えてみる。</li> </ul>		
	【当日の流れ・学習内容】		
	①北陸鉄道鶴来駅に集合します。 ②特別列車に乗車、洗車機通過体験（約20分） ※定員20名→20名以上の場合は交代制で乗車 普段一般の人には見ることができない廃線路の切れ目まで走ります。そして、電車はそのまま洗車機の中を通過し、工場へ。電車内から車両工場を見学し、車掌の解説を聞きます。運転席に座って記念撮影なども可能です。 ③鶴来街歩き・案内ガイド付き（60分） 案内時間については調整が可能です。ご相談ください。 鶴来駅からまちなかを廃線跡に沿ってガイドと一緒に歩き、ルート上の人々の営みに触れながら、廃線が及ぼす影響について学びます。また、地元の方から直接「廃線前と後の生活」についてお話を伺います。		
	所要時間	約1時間30分	
	実施場所	北陸鉄道鶴来駅、鶴来街中	
	所在地	石川県白山市鶴来本町4丁目2	
	アクセス	JR金沢駅より車で約40分	
駐車場	あり（大型バス4台可）		
当日準備物	筆記用具		
最少受付人数	【事後学習】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃線跡の街並みを歩いた感想を共有し、地方鉄道の役割について話し合う。</li> <li>これからも地方鉄道を維持していくために、どうしたらよいか考えてみる。</li> <li>鉄道が無くなることの影響は多々ありますが、特に環境に与える影響について考えてみる。</li> <li>日本では使われなくなった車両が海外で現役で使用されている事例があります。ものを最後まで使い切るという考え方の表れですが、列車の他にこのような事例がないか調べてみる。</li> </ul>		
	最少受付人数	10名	事前予約
	最大受付人数	40名（1クラス程度）	予約先電話番号
	受入可能時間	9:00～15:00	予約先FAX番号
	精算方法	後日請求書払い	
	取消料	7～2日前30%、前日40%、当日50%、当日（無連絡もしくは開始時間後）100%□	
	その他 (注意事項等)	訪問希望日が決定しましたら、日程調整いたしますので、下記連絡先までお問合せください。	
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的な対策	消毒、密にならないよう人数を制限	
問合せ先	白山市観光連盟		電話番号
	担当者	舟津	メールアドレス
	URL	<a href="https://www.urara-hakusanbito.com/index.html">https://www.urara-hakusanbito.com/index.html</a>	

企画名	一里野高原でSDGsを実践！～自然と向き合う持続可能な未来～		
SDGs目標	11・12・15		
学習のポイント	山ろくでの体験を通じて、自然の恵みと直面する課題について考える		
企画概要	<p>一里野高原ホテルろあんは、『SDGs未来都市』にも選ばれている石川県白山市の高原に建つホテルです。また白山市の名前の由来である『日本三名山』のひとつ『白山（はくさん）』は、古くから信仰の対象となっており、私たちに豊かな水や温泉をはじめとした様々な自然の恵みを与えてくれるなくてはならない大切な存在です。</p> <p>その白山の恵みを持続可能な形で次世代へ受け継ぐための取り組みを紹介し、農業や林業などに関する様々な体験を通じて、ろあんが実践するSDGsについて学びます。</p> <p>農業・林業は担い手の高齢化や後継者の不在など人手不足の深刻化が大きな社会問題となっています。この豊かな自然を守るため、そして多くの人々が平等に健康的に自然との調和を保ちながら生活していくため、自然作業の楽しさや自然環境の保全、循環型社会の構築などについて学びます。</p>		
設定期間	4月1日～ 11月30日 ※12月以降はスキーシーズンとなります。 冬季について別途ご相談ください。	外国語対応	英語
販売価格 (料金/税込)	高校生 1泊2食 10,500 円		
	中学生 1泊2食 9,500 円		
	その他（小学生・大学生） 別途相談 円		
	高校生 日帰り体験 (囲炉裏炭火焼きプラン) 5,500 円		
	中学生 日帰り体験 (囲炉裏炭火焼きプラン) 5,500 円		
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	・日本の農業や林業が抱える担い手不足の問題について調べる。		
	・山村における鳥獣害問題とその対策について調べる。		
	【当日の流れ・学習内容】		
	・ろあん到着後、体験プログラムごとにグループに分かれます。		
	・ろあんでのSDGsの取組やそれぞれの体験プログラムとSDGsの関連について事前に説明を受けます。		
	・グループごとに体験プログラムに取り組みます。		
	①農業体験・・・30～60分、20名まで対応可 (時期に応じて田植えから雑草取り、刈り取り、脱穀、粃摺り(もみすり)、種まき、収穫などを体験)		
	②林業体験・・・20～60分、40名まで対応可 (現場での下草取り、様々な器具を用いたの薪づくり、薪ボイラーに自身が作った薪をくべるところまでを体験)		
	③養蜂体験・・・30分、20名まで対応可 ※防護服は10着あり、交代利用となります。 (実際の蜂の巣箱を観察します。最後にとれたての蜂蜜をスプーン1杯分食して自然に感謝！)		
④囲炉裏体験・・・60分、100名程度対応可 (囲炉裏で炭の火付けやおぼろ豆腐作りを体験) ※雨天の場合、①、②、③は④のプログラムに変更となります。 ※日帰り体験の昼食「囲炉裏炭火焼き」のメニューの一部に、地元の猟師が獲った鹿や猪などのジビエを取り入れることで、食を通じて命の尊さを体感します。 ※宿泊時のお食事は夕食、朝食ともに修学旅行メニューとなります。囲炉裏炭火焼きを希望の場合+2,500円となります。			
所要時間	1時間～3時間 ※体験メニューにより異なります。お問合せください。		
実施場所	一里野高原ホテルろあん		
所在地	石川県白山市尾添チ70-4		
アクセス	北陸自動車道 金沢西ICより国道157号線で白山方面 後国道360号線 約50分		
駐車場	あり(大型バス4台可)		
当日準備物	汚れが気にならない服、スニーカー、筆記具		
	【事後学習】		
	・体験から得られた気づきを普段の生活にどのように活かしていけばよいか考えてみる。		
	・自然との関わりを楽しみながら、環境保全や循環型社会を構築する方法について考えてみる。		
最少受付人数	10名	事前予約	要予約(20日前まで)
最大受付人数	100名	予約先電話番号	076-256-7141
受入可能時間	10:00～15:00	予約先FAX番号	076-256-7441
精算方法	クーポン※旅行会社のクーポンについてはお問合せください。・当日現金・後日請求書払い		
取消料	当館規定の団体用キャンセル規定適用について 右記HPをご参照ください。→ <a href="https://ichirino.jp/faq/">https://ichirino.jp/faq/</a>		
その他 (注意事項等)	宿泊費、日帰り体験費は予算に合わせたプラン変更も可能です。 実施時期によって作業内容が変わります。そのため学校様との事前の打ち合わせが必要となります。 また、当日の天候により計画していた内容とは異なる体験内容となる場合もございます。		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的な対策	アルコール消毒・検温(受付)・換気・館内設備の定期的な消毒作業 他	
問合せ先	一里野高原ホテルろあん		電話番号 076-256-7141
	担当者	上坂	メールアドレス e@ichirino.jp
	URL	<a href="https://www.ichirino.jp">https://www.ichirino.jp</a>	

企画名	山村の暮らしの知恵 わら細工に触れ、「つかう責任」について考える			
SDGs目標	6・1 1・1 2			
学習のポイント	わら細工体験を通じて、「作って使って自然に返す」サイクルを理解し、エシカル消費を考える			
企画概要	<p>重要伝統的建造物群保存地区に選定されている白山市白峰(しらみね) 地区には、かつて白山ろくに住んでいた人たちの生活を再現した野外展示施設「白山ろく民俗資料館」があります。そして、国や県の文化財に指定されている民家が大切に保存・活用されており、実際に古民家の中を見学し、先人の生活の知恵を学ぶことができます。</p> <p>稲を刈り取った後に残る「わら」は、かつては様々な用途に活用され山村の暮らしを支えていました。わら細工を実際に作ってみることを通して白峰地区の自然と共生したかつての生活の一端に触れるとともに、持続可能な地域資源の利用について考えます。</p>			
設定期間	4月1日～11月30日 ※冬季は応相談、定員を減らして受け入れ	外国語対応	なし	
販売価格 (料金/税込)	高校生 1名当たりの単価設定はありません 中学生 1名当たりの単価設定はありません 1グループ(35名位まで) 78,000 円			
企画内容 (詳細)	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験プログラムをお申込み受付後、白山市のSDGsスタディーツーリズムの紹介動画「スタディハクサン」を希望される学校様にお送りします。(30分程度)</li> <li>わら細工には昔の人の生活の知恵がたくさん詰まった様々な加工品があります。そして、わらはまた土に還すことが可能という意味でも循環型社会を考える上で好素材です。わら以外に自分たちのまわりでそのような素材を探してみる。</li> <li>豪雪地帯の昔の暮らしがどのようなものだったのか調べてみる。</li> </ul> <p>【当日の流れ・学習内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①県指定有形文化財「旧杉原家」に集合します。</li> <li>②講師による説明(30分) ⇒石川県の文化財に指定されている古民家で、わら細工が「エシカル消費」を考えるきっかけとなることを解説します。</li> <li>③わら細工「鍋つかみ」制作体験(30分) ⇒地元スタッフの指導の下、わらで「鍋つかみ」を制作します。学生5～6名に1人のスタッフがサポートします。 ⇒昔の生活道具を実際に作ってみる体験を通して、現在の生活の中で使っている品物がどんな素材からできているかを意識し、地球の未来に貢献できるモノ選びについて考えます。</li> <li>④重伝建街並み散策・ガイド案内付き(30分～45分) ⇒ガイドの解説を聞きながら重伝建の街を歩き、白峰に今も残る水路「ミンジャ」による水利用の工夫と実態、そして豪雪地帯の雪対策を学びながら自然資源と共に生活してきた集落の今と将来を考えます。</li> </ol>			
	所要時間	約1時間30分～2時間		
	実施場所	白山ろく民俗資料館、白峰地区		
	所在地	石川県白山市白峰30		
	アクセス	車でJR金沢駅から約1時間15分、JR小松駅から約1時間、小松ICから約1時間15分		
	駐車場	あり(大型バス5台可)		
	当日準備物	動きやすく、多少汚れてもよい服装(体操服等)が望ましい。		
	【事後学習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の体験で学んだ白峰地区に伝わる生活の知恵が、現代の自分たち生活の中でどのように役立てられるか考える。</li> <li>古民家には現代のようなエネルギーがない時代に生きる人々の生活の知恵が多く活かされており、省エネルギー住宅であったとも言われています。その古民家の機能を現代に活かして省エネルギー化できるものがないか調べてみる。</li> <li>わら細工に代わる現代の生活雑貨は、どんな素材で、どのように作られているか調べてみる。</li> <li>「わら」のような土に還すことができる素材を調べ、それがどうしたら普及するか考えてみる。</li> </ul>		
	最少受付人数	5名	事前予約	要予約(20日前まで)
	最大受付人数	35名	予約先電話番号	076-259-5893
受入可能時間	9:00～15:00	予約先FAX番号	076-259-6893	
精算方法	後日請求書払い			
取消料	7～2日前30%、前日40%、当日50%、当日(無連絡もしくは開始時間後)100%			
その他 (注意事項等)	体験プログラムは1回1クラス(35名位まで)の対応となり、2クラス以上は、ローテーション対応となります。詳しくはご相談ください。			
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的な対策	アルコール手指消毒・検温		
問合せ先	白山市観光連盟		電話番号 076-259-5893	
	担当者	舟津	メールアドレス hakusan@urara-hakusanbito.com	
	URL	https://www.urara-hakusanbito.com/index.html		

企画名	動物園で学ぶSDGs ～トキやライチョウに出会えるエコ動物園～		
SDGs 目標	12・13・15		
学習のポイント	動物園の担う役割やエコな取り組みを理解し、気候変動の生態系への影響を考える		
企画概要	<p>本プログラムでは、職員の説明を聞きながら園内を歩くことで、現在の動物園の役割と運営について理解を深めるとともに、いしかわ動物園ならではのエコな取り組みについて学びます。</p> <p>現在の動物園は「動物福祉」という観点に基づいて動物を飼育しています。また、希少動物の繁殖や研究を通して近未来に訪れるかもしれない「種の絶滅の危機」を回避するための対策を取ることも動物園の重要な役割であり、その具体的な取り組みに触れながら学びます。</p> <p>そして、動物の生活に触れ、理解することは気候変動や環境・生態系への影響を理解することに繋がります。</p> <p>園内で出た生ゴミを堆肥に作り変えたり、園内に降った雨水を無駄にせず動物舎の清掃に利用するなど、循環型機能を持った動物園の運営についても学びます。</p>		
設定期間	通年可 ※動物園の休園日はHPにてご確認ください	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	入園料/小学生・中学生410円(団体割引310円) 高校生840円(団体割引740円) 引率無料 要減免申請書 ※団体割引：有料入園者数30名以上の団体に適用 ※減免申請書：来園当日受付にて記入		
企画内容 (詳細)	<b>【事前学習】</b> (1) 両親や祖母、祖父に、動物園のイメージを詳しく聞く →どんな動物が、どのように展示されていたか、動物園の印象 など (2) 今の動物園の役割について調べる →日本動物園水族館協会が動物園に求める役割、自分が動物園に求めること (3) 動物園が「陸の豊かさを守る」という目標達成にどのように関係するかを考える		
	<b>【当日の流れ・学習内容】</b> (1) 入園時にチェックシートを渡し、エントランス広場～動物学習センター (園のほぼ中間地点) までにある展示場を見て、チェック項目を記入する (40分) (2) 動物学習センターで、動物園の役割についてのレクチャー (30分) ①金沢動物園時代(民間時代)と、現在の動物園の展示上の違い ②現在の動物園に求められる役割とは何か ③動物園の役割が変遷した時代背景について ④トキ、ライチョウ保全の取組について ⑤環境保全の取組について ⑥いしかわ動物園がめざすものとは (3) レクチャーを検証しよう (40分) →残り半分の展示場を職員と進みながら、レクチャーの内容について検証していく		
	所要時間	約2時間	
	実施場所	いしかわ動物園	
	所在地	石川県能美市徳山町600番地	
	アクセス	金沢森本ICから約60分、金沢西ICから約40分、美川ICから約20分、小松ICから約20分	
	駐車場	あり(大型バス16台可)	
	当日準備物	筆記用具	
	<b>【事後学習】</b> ・地元の動物園に出かけて、レクチャーで話した内容が実践されているかを確認する (いしかわ動物園との共通点や違いについてまとめてみる) ・持続可能な開発を維持しながら動物たちと共存していくにはどのような取り組みが必要かを考えてみる		
	最少受付人数	10名	事前予約
最大受付人数	40名×1回	予約先電話番号	0761-51-8500
受入可能時間	9:00～14:30 (16:30閉園)	予約先FAX番号	0761-51-8504
精算方法	クーポン※旅行会社のクーポンについてはお問合せください。後日請求書払い		
取消料	無し		
その他 (注意事項等)	・遠足シーズン(4月下旬～5月、10月)は地元の来園学校優先のため、受入不可となります ・土日祝日はイベント等のため受入不可となります ※詳細はお問合せください。		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的な対策	・入園時の手指の消毒、赤外線モニターによる検温、マスクの着用、観覧通路の一方通行 ・感染状況に応じたガイドやイベント等の中止(県発表のモニタリング指標により段階的に対応)	
問合せ先	いしかわ動物園 企画教育係		電話番号 0761-51-8500
	担当者	三上、南都(なんと)	メールアドレス mikami@ishikawazoo.jp nanto@ishikawazoo.jp
	URL	https://www.ishikawazoo.jp	

企画名	新たな里山再生のモデル「木場湯公園東園地」で、SDG s を体系的に学ぶ			
SDG s 目標	7・15・17			
学習のポイント	里山再生の体験活動を通じて、生物多様性や再生可能エネルギーの利活用について学ぶ			
企画概要	<p>2023年春、「新たな里山再生のモデル」をコンセプトに、再生可能エネルギーを活用した「木場湯公園東園地」がオープンします。</p> <p>園内では、再生資源や自然エネルギーを活用してトマトなどの野菜を栽培し、収穫体験などを通じて、見て触れて感じながら自然エネルギーの利活用について学びます。</p> <p>また、園内の里山林では、間伐・薪割り体験や生き物調査などのプログラムもあり、里山の再生や生物多様性についても学べます。</p>			
設定期間	2023年春オープン予定～ (休業日：毎週月曜日、年末年始)	外国語対応	なし	
販売価格 (料金/税込)	高校生 ※選択プログラム 中学生	～2,000 ～2,000	円 円	
企画内容 (詳細)	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山が持つ役割について考えてみる。(生物多様性の維持・水の循環・気候変動対策・人に与えてくれる食材など)</li> <li>・トマトのハウス栽培において必要となるエネルギーについて調べる。(費用対効果など)</li> <li>・再生可能エネルギーにはどのようなものがあるか調べる。</li> </ul> <p>【当日の流れ・学習内容】</p> <p>1 オリエンテーション (5分)</p> <p>2 新たな里山再生・再生可能エネルギーについて解説 (10分)</p> <p>3 園内散策・自然解説 (10分)</p> <p>4 テーマに沿った施設見学や体験学習プログラムを組み合わせ実施(各10～60分) 滞在希望時間によってこちらよりプログラムの組み合わせを提案いたします。 以下の4つの選択プログラムの実施が可能です。</p> <p>(1) 地下水・温泉水を活用した冷暖房装置によるトマトの栽培技術説明、トマトの収穫・スムージー作り体験</p> <p>(2) 森づくりと薪割り体験、チップ・ペレットの製造見学による木質バイオマス資源循環(SDGs・脱炭素の理解促進)</p> <p>(3) 生き物調査、タブレットを使った写真撮影・学習、観察・記録・スケッチ (生物多様性の理解促進)</p> <p>(4) 次世代型太陽光発電(果樹園併設) 見学(再生可能エネルギー理解促進)</p> <p>5 移動(10分)</p> <p>6 グループディスカッション→学習内容発表→アンケート(20分)</p>			
	所要時間	基本は2時間。1日滞在も可能です。(※プログラムの組み合わせによる)		
	実施場所	東園地内の体験学習施設、里山林(屋外) ※雨天の場合は屋内研修可		
	所在地	石川県小松市三谷町夕120番		
	アクセス	国道8号蓮代寺I.Cから車で3分、J R小松駅から車で10分		
	駐車場	あり(大型バス 5台可)		
	当日準備物	なし		
	【事後学習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東園地での体験活動を振り返り、その活動が里山再生やSDG s に資する効果や地域への貢献について考えてみる。</li> <li>・里山の環境維持において、微生物・昆虫・植物・鳥・動物などが里山の環境維持においてどのような役割を担っているかについて考えてみる。</li> <li>・再生可能エネルギーを利用した施設や取り組みが自分たちの周りで実用化されている事例を探してみる。</li> <li>・どうすれば再生可能エネルギーがもっと普及するか考えてみる。</li> </ul>		
	最少受付人数	10名程度を予定	事前予約	要予約(60日前まで)
	最大受付人数	70名程度を予定	予約先電話番号	076-225-1772
受入可能時間	9:00～16:00	予約先FAX番号	076-225-1773	
精算方法	当日現金・後日請求書払い			
取消料	なし			
その他 (注意事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム料金はプログラムごとに異なります。現在調整中です。</li> <li>・多目的ルームにてお弁当対応で昼食を取っていただけます。お弁当の手配は旅行会社様を通じてお願いします。</li> </ul>			
感染防止対策に関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的な対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のマスク着用、検温、手指の消毒、換気など感染防止対策を徹底</li> <li>・利用者には、入口での検温・消毒、マスク着用など声かけ徹底</li> </ul>		
問合せ先	石川県土木部公園緑地課	電話番号	076-225-1772	
	担当者	木場湯公園整備グループ	メールアドレス	e251800a@pref.ishikawa.lg.jp
	URL	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kouen/index.html		

所要時間により、組み合わせ、内容等変更対応いたします。

企画名	SDGsで繋がる車の過去と未来 ～展示台数日本一の自動車博物館で学ぶSDGs～		
SDGs目標	7・9		
学習のポイント	自動車の歴史を紐解きながら、人と車との未来像について考える		
企画概要	<p>日本の基幹産業とも呼ばれる「自動車産業」の歴史を知り、学ぶ機会を提供します。見学や体験を通じて自動車に関する知識を深めるとともに、グリーン技術として進められている「電気自動車」「水素燃料電池車」の実車を用いて解説し、その仕組みについて学びます。</p> <p>また、当館は、産業観光分野で業界団体・企業とのパートナーシップを図り、地域産業の振興・販促を進めています。SDGsの目標達成に向けては、日本の就業人口の約1割が従事していると言われる自動車産業が果たす役割はとても重要です。過去の自動車産業の歴史を凝縮した当館で、私たちの未来の生活の変化や持続可能な自動車産業のあり方について学びます。</p>		
設定期間	通年 (休業日:水曜日・年末(12/26~31))	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	高校生 1,000 円 中学生 500 円 その他(先生は無料)		
企画内容 (詳細)	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造メーカーや原動機の種類など、(過去の自動車と比較しながら)現代の自動車に関する基本的な情報について調べる。</li> <li>・自動車産業の現状と課題について調べる。(自動車産業に関わる職業にはどんなものがあるか。それが過去から現在に至るまでどのように変化してきたか)</li> </ul>		
	<p>【当日の流れ・学習内容】 博物館概略・プログラムの説明 → 展示車ガイド・取組み紹介 → 自由見学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国内主要メーカーにおける変遷及び自動車構造の変化を実車を用いて説明 (約40年間に渡る歴代の日産スカイラインのボンネット内部も特別開示し、燃費性能も含めた技術革新を説明)</li> <li>2) 自動車産業におけるグリーン技術の歴史と内容を紹介 (電気自動車・水素燃料電池車の実車を用いた各車両の違いを紹介)</li> <li>3) 実働車によるデモンストレーション (エンジン始動等の作動実演・クラシックカー乗車体験 等)</li> <li>4) 産業観光での連携についての活動内容を紹介</li> <li>5) 自由見学</li> </ol>		
	所要時間	約2時間	
	実施場所	日本自動車博物館	
	所在地	石川県小松市二ツ梨町一貫山40番地	
	アクセス	北陸自動車道 小松I.C.または加賀I.C.より車で約20分	
	駐車場	あり(大型バス 50 台可)	
	当日準備物	筆記用具	
	<p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の自動車産業がどのように変わっていくのか想像してみる。</li> <li>・自動車の進化に伴い、私たちの生活がどのように変化していくか考えてみる。</li> <li>・モータリゼーションの発達と環境保全(ゼロカーボン等)のあり方について考えてみる。</li> <li>・自分が自動車産業で携わるとしたら、どのような仕事に就いてみたいか。そしてその仕事を通じて持続可能な社会の実現に向けてどのように貢献できるか想像してみる。</li> </ul>		
	最少受付人数	15名	事前予約
最大受付人数	30~40名程度	予約先電話番号	0761-43-4343
受入可能時間	9:00~17:00	予約先FAX番号	0761-43-4444
精算方法	クーポン ※旅行会社のクーポンについてはお問合せください。・当日現金		
取消料	なし		
その他 (注意事項等)	最大受付人数は1回あたりの人数ですので、同日に複数回の受け入れ可能です。(要相談) コロナ感染拡大防止の為、一部内容が変更となる場合がございます。		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的な対策	アルコール消毒・検温(受付)・換気・館内設備の定期的な消毒作業 他 公益財団法人日本博物館協会「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準ずる	
問合せ先	日本自動車博物館		電話番号 0761-43-4343
	担当者	渉外営業係長 木村	メールアドレス t.kimura@ishikurosangyo.co.jp
	URL	http://mmj-car.com/	

企画名	「日本一の富豪村」と呼ばれたまちで、北前船がもたらした地域の発展について学ぶ			
SDGs目標	9・11			
学習のポイント	北前船の栄枯盛衰から、社会と経済活動の変化について考える			
企画概要	<p>江戸時代中期から明治時代にかけて、北海道から大阪を西廻りで各地の港を結んでいた商船が北前船です。北前船は単に積み荷を運ぶためだけの船ではありませんでした。ある寄港地では商品を「安く買い」、また別の寄港地ではそれを「高く売る」ということを続けながら航路を結んでいました。北前船はいわば「動く総合商社」と呼べるものであり、日本の資本主義経済の先駆けとも言える存在でした。そのような重要な役割を担っていたからこそ、日本遺産にも認定されています。</p> <p>そして、北前船の活躍のおかげで、各地域に様々な物品や文化が流通しました。その結果として日本海側の様々な港が栄え、この橋立（はしたて）の地域経済も発展し、過去には「日本一の富豪村」と呼ばれていたこともありました。この加賀の地から日本全国に誇る山中漆器や九谷焼などの伝統文化を育み、地域と文化の発展に大きな貢献をした存在が北前船でした。</p> <p>当プログラムでは、北前船によってどのような品物が運ばれたのかを学び、北前船を通じてどのようにして各地の文化が広がっていったかについて触れます。そして、北前船の歴史を学びながら持続可能な経済成長のあり方や地域間経済の結びつきについて考えます。</p>			
設定期間	通年（休館日なし）	外国語対応	なし	
販売価格 （料金／税込）	中高校生 入館無料 街並み案内ガイド費 2,000 （ガイド1名 2時間まで）	円	円	
企画内容 （詳細）	【事前学習】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ北前船の航路が発展したかについて調べる。</li> <li>北前船の航路や運んでいたもの（食材・工芸品・文化）について調べる。</li> </ul>			
	【当日の流れ・学習内容】			
	①北前船の里資料館にて見学・ガイド説明（30分） ガイド1名につき生徒様20名まで、21名以上の場合は2つに分かれ、①と②入れ替え制となります。			
	②資料館周辺の富豪村（街並み）を散策・ガイド案内（30分） ・北前船の里資料館の周辺エリアをガイドとともに散策しながら北前船文化について学習します。			
	③北前船の里資料館にて、「北前船を通した地域の持続可能性について」の説明を聴きます。（30分） ※参加者21名以上の場合は、橋立地区会館にて説明を行います。使用料 460円（当日現金支払い、領収書発行可能です） ・北前船が地域にもたらした恩恵について学ぶ。（地域の持続可能性） ・文化だけでなく、当時は珍しかった「安く仕入れて高く売る」といった商売方法、海上保険のきっかけとなった点等、経済に関しても学びます。（地域の経済成長） ・北前船の活躍で加賀市の山中漆器や九谷焼がどのように流通し、その存在価値が全国的に認められるようになったかについて学びます。（伝統工芸品の発展）			
	所要時間	1時間30分		
	実施場所	北前船の里資料館		
アクセス	片山津I.Cより車で7分			
駐車場	あり（大型バス5台可）			
当日準備物	筆記用具、必要に応じて雨具			
最少受付人数	【事後学習】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>隆盛を極めた北前船がなぜ衰退していったのか、当時の社会情勢の変化から考えてみる。</li> <li>北前船が地域にもたらした恩恵についてまとめる。</li> </ul>			
	5名	事前予約	要 ※予約受付は体験日の1か月前まで	
最大受付人数	40名	予約フォーム	<a href="https://logoforum.jp/form/4MRd/kaga-SDGs-program">https://logoforum.jp/form/4MRd/kaga-SDGs-program</a>	
受入可能時間	9:00～16:00			
精算方法	当日現金支払い（現地で領収証発行可能です）			
取消料	なし			
その他 （注意事項等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋立地区会館は、加賀市観光交流課から利用予約を致します。</li> <li>入館料、資料館内の案内ガイドは、無料となります。</li> <li>橋立地区会館をご利用の際は、会館内事務所でのお支払いをお願い致します。</li> </ul>			
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。		
	具体的対策	検温、消毒		
問合せ先	加賀市観光交流課		電話番号	0761-72-7900
	担当者	小中出	メールアドレス	yukyaku@city.kaga.lg.jp
	URL	<a href="https://www.city.kaga.ishikawa.jp/kanko_bunka/kanko/kanko_news/index.html">https://www.city.kaga.ishikawa.jp/kanko_bunka/kanko/kanko_news/index.html</a>		

企画名	「九谷焼」の未来への継承～担い手の働きがいと女性作家の活躍～		
SDGs目標	4・5・8・12		
学習のポイント	九谷焼の歴史を辿り、伝統産業の担い手の確保・育成について考える		
企画概要	日本三大色絵磁器のひとつ「九谷焼」は、加賀市が発祥の地と言われており、その歴史は古く江戸時代前期にさかのぼります。九谷焼がどのように始まり発展し、現在へと継承されてきたかを学ぶとともに、未来へと継承していくためにはどのような取り組みが必要かについて考えます。また、九谷焼の中でも昔ながらの製法を継承しているものは、完成までに長い時間と労力がかかっています。その希少価値の高い伝統工芸品への理解を深めることで、物を一生ものとして未永く大切にすることを学ぶ精神について学びます。		
設定期間	通年対応可（月曜日は美術館休館のため不可） 詳しくは美術館ホームページをご確認ください。	外国語対応	なし
販売価格 (料金/税込)	中高校生	1,650 円	
企画内容 (詳細)	【事前学習】		
	・自分たちの住んでいる地域にある伝統工芸品について調べてみる。 ・職業としての伝統工芸職人について調べる。（収入、働き方、どうやったらなれるのか等） ・伝統工芸品に関わっている職人さんにはどのような働き甲斐があるかについて考えてみる。		
	【当日の流れ・学習内容】		
	①石川県九谷焼美術館の見学（30分） →美術館をガイドの案内で見学します。 ガイド1名につき生徒様20名まで、21名以上の場合は2つに分かれ、①と②入れ替え制となります。 （九谷焼の歴史や九谷焼の中でも時代や絵付け方法によって異なる作風について学びます。）		
	②九谷焼とSDGsとの関係性についてのセミナーを受講（30分）		
	・新たな九谷焼の担い手の育成について 九谷焼を未来に継承していくためには新たな若い担い手の育成が欠かせません。どのように技術を継承し、働き甲斐を得ながら創作活動を続けているかについて触れます。		
	・九谷焼と女性作家について かつての伝統工芸の世界は男性中心と思われていますが、九谷焼の世界では女性も活躍していました。現代においても女性ならではの繊細で柔らかな作風の九谷焼が注目を集めています。男性中心の伝統工芸の世界にどのように女性が関わってきたかについて触れます。		
	③「九谷満月」に移動して九谷焼の絵付け体験をします。（体験時間約60分）※石川県九谷美術館より車で約15分 →本物の九谷焼を鑑賞しその歴史に触れた後、実際に自分で絵付け体験をすることを通じて、作家や職人のもつ高い技術を体験することができます。		
	体験アイテムの種類について 1.湯呑 2.マグカップ 3.お皿（直径15cm）の3種類からご選択ください。種類は1校につき1種類で統一となります。		
	所要時間	2時間（別途移動時間15分が発生します）	
実施場所	石川県九谷焼美術館・株式会社九谷満月		
アクセス	JR大聖寺駅より車で約5分（石川県九谷焼美術館） JR加賀温泉駅より車で約5分（株式会社九谷満月）		
駐車場	あり		
当日準備物	筆記用具		
最少受付人数	【事後学習】		
	・九谷焼の過去と現在でどのような変化があり、現在まで継承されてきたかについてまとめてみる。 ・伝統工芸を未来に継承していく意義について考えてみる。 ・自分たちの住む地域の伝統工芸品を身近に感じてもらうためにどうしたらよいか考えてみる。		
	5人	事前予約	要 ※予約受付は体験日の1か月前まで
最大受付人数	40人	予約フォーム	https://logofom.jp/form/4MRd/kaga-SDGs-program
受入可能時間	9:00～17:00		
精算方法	後日口座振り込み ※プログラム料金は、九谷満月に直接お支払ください。		
取消料	当日100%、前日50%、連絡無し50%（九谷満月）		
その他 (注意事項等)	・石川県九谷焼美術館の入館料および館内ガイド料金は無料です。（Tel 0761-72-7466） ・プログラム料金は九谷満月による絵付け体験料金のみ含まれています。 ・絵付けした九谷焼は焼き上がり・完成までに2～3週間程度かかります。その後各学校様に発送いたします。送料については別途お問合せください。 ・九谷満月では昼食の対応も可能となっております。詳しくは九谷満月までお問合せください（Tel 0761-77-2121）		
感染防止対策に 関する取組事項	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	関係ガイドラインに基づき感染防止対策を実施しました。	
	具体的対策	検温、消毒	
問合せ先	加賀市観光交流課		電話番号
	担当者	小中出	メールアドレス
	URL	https://www.city.kaga.ishikawa.jp/kanko_bunka/kanko/kanko_news/index.html	